

<本校の研修主題>

# 「考える力」を育てる授業の改善

～問題解決的な学習過程における手立ての工夫を通して～

<本校算数科が目指す「考える力」>

○見通しをもち、筋道を立てて考える力

<「考える力」を身に付けた児童像>

○見通しをもち、既習事項を活用して自分の考えをつくりあげる子

○自他の解決方法を比較・検討し、よりよい考えをつくりあげる子

## まとめ

- ・問題解決に用いた数学的な考えのよさを自分の言葉でまとめる。

## 練り合い

- ・自分の考えを簡潔・明確に説明する。
- ・自他の解決方法を比較・検討する。

## 自力解決

- ・既習事項や仮定に基づいて考える。
- ・自分の考えを簡潔・明確に表現する。

## 課題把握

- ・事象から数学的な問題を見つける。
- ・解決への見通しをもつ。

算数科の問題解決的な学習過程

児童の意識の流れをふまえた授業構想・ねらいが明確な算数的活動

◎本時のねらいと児童が記述、発言する内容に整合性をもたせる工夫

◎解決方法の交流を通して、課題に対する考えを深めさせるための手立ての工夫

- ・練り合いの視点の明確化
- ・それぞれの解決方法へのかかわりを深めさせるための発問  
(他者説明、展開を予想、比較)
- ・自分の考えを、根拠を明確にしながらかかりやすく説明する算数的活動の充実
- ・より洗練されている考えの検討  
→「はかせ」(はっきり・簡単・正確)

◎自分の考えを明確にもたせるための手立ての工夫

- ・考えたり表現したりする算数的活動の充実
- ・児童の表現力を高めるためのワークシート
- ・思考を活性化させる教具

◎課題解決への意欲を喚起させるような課題の設定、及びその提示方法の工夫

- ・前時との共通点や相違点の確認
- ・児童の実態に応じた見通しのもたせ方

授業の工夫・改善の手立て

